

教科名	芸術科	科目名	音楽	
対象学年	中学1年	コース・選択等	——	
単位数	1.5時間/週	教科書 (出版社)	中学音楽1 (教育出版) 中学器楽 (教育出版)	
使用教材	中学音楽1 ……教育出版 中学器楽 ……教育出版 ザ・楽典 ……ヤマハ出版			
学習のねらい	表現：正しい呼吸法、発声で曲想を感じとり、明るく楽しく歌唱する。 楽器の基礎的な奏法で、美しい音色を工夫し演奏する。 鑑賞：文化、歴史等との関わりを理解し、感じ取る。			
学習 内容 と 流れ	学期・ 月等	単 元	学期・ 月等	単 元
	4月	音 発声・腹式呼吸 校歌・譜表・ト音記号 器 楽器概説 ヴァイオリン構え・ピチカート	11月	音 合唱練習 鑑賞「メサイア」 器 ヴァイオリン イ長調の音階
	5月	音 音名・階名 「夏の思い出」 器 ヴァイオリン 弓の持ち方・開放弦	12月	音 クリスマスキャロル 器 ヴァイオリン 音階
	6月	音 音符・休符 鑑賞「魔王」 器 ヴァイオリン 開放弦・全弓・半弓・リズムアンサンブル	1月	音 楽典 1年のまとめ 合唱コンクール 準備 合唱練習 器 ヴァイオリン二重奏 1学期の復習 ・開放弦・運弓
	7月	音 発想・速度記号 器 ヴァイオリン 運弓・開放弦	2月	音 「マイ・バラード」 合唱コンクール 器 ヴァイオリン二重奏 2学期の復習 ・音階
	9月	音 強弱・反復記号 合唱練習 器 ヴァイオリン 1学期の復習	3月	音 卒業式の歌 鑑賞「春」 器 ヴァイオリン二重奏 「メリーさんの羊」
	10月	音 拍子 鑑賞「モルダウ」 器 ヴァイオリン 音階		

教科名	芸術科		科目名	音楽		
対象学年	中学2年		コース・選択	—		
単位数	1時間/週		教科書 (出版社)	中学音楽2・3上(教育出版) 中学器楽(教育出版)		
使用教材	中学音楽2・3上……教育出版 中学器楽……教育出版 ザ・楽典……ヤマハ出版					
学習のねらい	表現：言葉、歌詞の内容、曲想などを感じとり歌唱する。 速度、強弱、音色、リズム、旋律、和声などの関わり合い、形式などの働きを感じ取り表現する。 鑑賞：演奏形態、作曲形式や、諸民族音楽の特徴や多様性などを、感じ取る。					
学習内容と流れ	学期・月等	単元		学期・月等	単元	
	4月	音楽典1年の復習 「花の街」 …………… 器 ヴァイオリン 1年の復習		11月	音 音程 2・3度 合唱練習 …………… 器 ヴァイオリン ハ長調の音階 「エーデルワイス」(前半)	
	5月	音 音階 「浜辺の歌」 …………… 器 ヴァイオリン イ長調の音階 ニ長調の音階			12月	音 クリスマスキャロル 転回音程 6・7度 …………… 器 ヴァイオリン 「エーデルワイス」 スラーをつけて弾く
	6月	音 長音階・調号 「アメージンググレイス」 …………… 器 ヴァイオリン 「きらきら星」(前半)		1月		音 楽典 2年のまとめ 合唱コンクール 準備 合唱練習 …………… 器 「エーデルワイス」 音色をつけて弾く
	7月	音 長音階のまとめ …………… 器 ヴァイオリン 「きらきら星」(後半)			2月	音 「この星に生まれて」 合唱コンクール …………… 器 ヴィオラ ハ音記号 音階 1学期の復習
	9月	音 半音階 讃美歌重唱 …………… 器 和楽器 しの笛 かまゑ		3月		音 卒業式の歌 …………… 器 ヴァイオリン・ヴィオラ二重奏 「エーデルワイス」 2学期の復習
	10月	音 音程 1・4・5・8度 合唱練習 …………… 器 和楽器 しの笛 吹き方				

教科名	芸術科		科目名	音楽	
対象学年	中学3年		コース・選択	—	
単位数	1時間/週		教科書 (出版社)	中学音楽2・3下(教育出版)	
使用教材	中学音楽2・3下……教育出版 ザ・楽典……ヤマハ出版				
学習の ねらい	表現：曲種に対応した発声で歌唱する。 各声部の役割や、全体の響きに気を付けて合唱する。 自由なイメージや曲想、発想のもとに創作する。 鑑賞：速度、強弱、声、リズム、旋律、和声、形式等の雰囲気や特徴を感じ取る。				
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元		学期・ 月等	単 元
	4月	楽典2年の復習 「花」		11月	「涙・そうそう」 鑑賞「アイダ」
	5月	調号 「浜辺の歌」 鑑賞「アランフェス」		12月	クリスマスキャロル
	6月	短音階・調号 関係調 「帰れソレントへ」 鑑賞「羽衣」		1月	合唱コンクール 準備
	7月	三和音 鑑賞「青少年のための管弦楽入門」		2月	合唱コンクール
	9月	短音階 鑑賞「ボレロ」		3月	卒業式の歌
	10月	「荒城の月」 コードネーム			

教科名	芸術科		科目名	美術		
対象学年	中学1年		コース・選択等	——		
単位数	1.5時間／週		教科書 (出版社)	美術 I (日文)		
使用教材	「色彩」(日本色彩研究所) 他にプリント教材					
学習のねらい	感性や想像力を働かせて、自然や身近なものを観察しよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりして豊かに発想し構想する能力を身に付け形や色の構成などを工夫し、自分らしく心豊かな表現の構想をする。					
学習内容と流れ	学期・月等	単元		学期・月等	単元	
	4月	絵画 人物画		11月	色彩 色の機能・混色 絵画 上履きのスケッチ	
	5月	〃		12月	〃 デザイン 平面構成図形を利用して	
	6月	色彩 色の三属性、色立体		1月	〃	
	7月	絵画 静物画		2月	〃	
	9月	絵画 点描画の制作		3月	〃	
	10月	〃				

教科名	芸術科		科目名	美術		
対象学年	中学2年		コース・選択等	——		
単位数	1時間/週		教科書 (出版社)	美術Ⅱ・Ⅲ上(日文)		
使用教材	「新造形と美術」(浜島書店) 他にプリント教材					
学習のねらい	感性や想像力を働かせて、対象やものごとを深く見つめ、よさや美しさなどを感じ取ったり考えたり、用途や機能を考えたりして、独創的で豊かな発想をし、心豊かで創造的な表現の構想をする。美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じ取ったり味わったり理解したりする。					
学習内容と流れ	学期・月等	単元		学期・月等	単元	
	4月	工芸 つや紙を使ったはり絵		11月	鑑賞 シルクロードをたどって、仏教の伝来、仏像の移りかわり、物語や歴史の表現	
	5月	〃		12月	絵画・デザイン ポスターの制作	
	6月	鑑賞 造形活動のはじめ。古代の造形		1月	〃	
	7月	鑑賞 理想美の追求。日本の古代建物と寺院建築		2月	鑑賞 来世と現実、教会を中心とした美術、イタリアルネサンス北方ルネサンス	
	9月	デザイン レタリング		3月	鑑賞 水墨画・庭園・屏風絵	
	10月	〃				

教科名	芸術科		科目名	美術	
対象学年	中学3年		コース・選択等	——	
単位数	1時間/週		教科書 (出版社)	美術Ⅱ・Ⅲ下(日文)	
使用教材	「新造形と美術」(浜島書店) 他にプリント教材				
学習のねらい	感じ取ったことや心の世界などをスケッチに表し、想像力や創造的な技能などを働かせ、表現意図に合う新たな表現方法を研究するなどして創意工夫し、創造的に表す。美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わったり、理解したりする。				
学習内容と流れ	学期・月等	単元		学期・月等	単元
	4月	絵画 イメージの世界を描く		11月	〃
	5月	〃		12月	鑑賞 ピカソの芸術、パリ派、超現実派、日本の洋画、版画、日本画
	6月	鑑賞 バロック、ロココ、新古典派、ロマン派		1月	工芸 はり絵
	7月	鑑賞 印象派、後期印象派、新印象派、浮世絵と印象派、野獣派と立体		2月	〃 鑑賞 近代の彫刻、現代の彫刻
	9月	彫塑・絵画 木彫レリーフと絵つけ		3月	鑑賞 現代美術の表現
	10月	〃			

教科名	芸術科	科目名	音楽Ⅰ
対象学年	高校1年	コース・選択等	必修
単位数	1単位	教科書 (出版社)	高校生の音楽(教育芸術社)
使用教材	讃美歌21		
学習のねらい	<p>多くの讃美歌を知ることにより、日々の礼拝を充実したものにする。          日本歌曲を歌うことにより、日本における西洋音楽への理解を深める。          西洋の音楽史における各時代の様式、代表的な作曲家を学び、教養を広める。          中学で学習した楽典の知識をさらに深める。          讃美歌コンクールへの参加によって、合唱の楽しさを感じ、クラスの団結を深める。</p>		
学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元	ねらい
	1学期	讃美歌：(504、520、566、196、211「ちいさなごに」他) 音楽史：キリスト教の成立時～ゴシック時代 楽典：音名、階名 讃美歌コンクール	月間讃美歌をしっかりと歌えるようにする 初期の西洋音楽の成り立ちを知る 楽譜を正しく読めるようにする 讃美歌を合唱し、クラスの団結を深める
	2学期	讃美歌：(536、536、487、224、249、「うるわしのしらゆり」クリスマス讃美歌 他) 音楽史：ルネサンス時代 バロック時代 ヴィヴァルディ バッハ ヘンデル 楽典：音符、拍子 日本歌曲：「さびしいカシの木」	月間讃美歌をしっかりと歌えるようにする バロック時代の音楽を知り、メサイア演奏会への理解を深める 音符と拍子の関係を理解する 日本語の歌曲を正しく歌う
	3学期	讃美歌：(351、509、522、54 他) 音楽史：古典主義の時代 ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン 楽典：長音階 日本歌曲：「翼をください」	月間讃美歌をしっかりと歌えるようにする 古典主義の音楽の特徴を理解する 長調の音階について理解する フォークソングの古典に触れる
学習の留意点・ 評価など	<p>歌をよりうまく歌えるように努力しているか。          教材に興味を持って楽曲鑑賞ができていないか。          音楽史について理解ができていないか。          楽典を正しく理解ができていないか讃美歌コンクールや実技テストに真剣に取り組んでいるか。</p>		

教科名	芸術科	科目名	音楽 I
対象学年	高校 2 年	コース・選択等	必修
単位数	1 単位	教科書 (出版社)	高校生の音楽 I (教育芸術社)
使用教材	讃美歌21		
学習のねらい	<p>多くの讃美歌を知ることにより、日々の礼拝を充実したものにする。 ドイツ語、歌曲を歌い、西洋の歌曲への理解を深める。 ロマン主義時代の代表的な作曲家の生い立ちと作品を学ぶ。 讃美歌コンクール参加により、合唱の楽しさを知り、クラスの団結を深める。 1 年生で学習した音楽理論の学びを進める。</p>		
学習内容と流れ	学期・月等	単 元	ね ら い
	1 学期	<p>讃美歌：(504、520、566、196、211、「ちいさなかごに」他) 楽 典：長音階 音楽史：ロマン主義の時代初期 シューベルト 讃美歌コンクール</p>	<p>讃美歌をしっかりと歌えるようにする 音階のしくみを理解する ロマン主義の音楽とそれ以前の音楽の違いを知る</p> <p>讃美歌コンクール参加により、合唱の楽しさを知り、クラスの団結を深める。</p>
	2 学期	<p>讃美歌：(536、487、224、249、「うるわしのしらゆり」、クリスマス<span style="font-size: small;">の讃美歌</span> 他) 楽 典：短音階 音楽史：ロマン主義の時代盛期 歌 唱：Heienröslein</p>	<p>讃美歌をしっかりと歌えるようにする 短音階について理解する 盛期ロマン派の作品を多く鑑賞する ドイツ歌曲を原語で歌う</p>
	3 学期	<p>讃美歌：(509、522、54 他) 楽 典：音程 音楽史：ロマン主義の時代後期 国民楽派 合唱曲：An die Freude (Beethoven)</p>	<p>讃美歌をしっかりと歌えるようにする 複雑な音程を理解する 後期ロマン派から国民楽派への変遷を理解する ベートーヴェン第9の合唱部分を歌う</p>
学習の留意点・評価など	<p>歌をよりうまく歌えるように努力しているか。 教材に興味を持って楽曲鑑賞ができているか。 音楽史、音楽理論について理解ができているか。 讃美歌コンクールや実技テストに真剣に取り組んでいるか。</p>		



教科名	芸術科	科目名	美術 I	
対象学年	高校 2 年	コース・選択等	コース I (2 選 2)	
単位数	2 単位	教科書 (出版社)	美術 I (日文)	
使用教材	スクラッチボード、ニードル、水彩絵具、和紙等			
学習のねらい	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。			
学習内容と流れ	学期・月等	単 元	ね ら い	留 意 点
	4 月	平面構成 (立体的に画面を構成する)	・立体的感覚で発想できること。 色彩を有効に生かすことを考える。	立体感が表現できたか。
	5 月	〃		
	6 月	〃		
	7 月	スクラッチボードに描く (人物・静物など)	・ニードルによって制作する ・黒地に白い線や面で表現するのだがその効果を考えて制作する。	素材の特性が生かされたか。
	9 月	〃		
	10 月	クリスマスカード	・クリスマスカードにふさわしい内容のものを制作する。	クリスマスを表現できたか。
	11 月	〃		
	12 月	模 写	・対象の表現方法や材料・技法の生かし方などに創意や工夫をする。	元の絵を正確に表現できたか。
	1 月	〃		
	2 月	は り 絵	・主題を明確にし、表現方法を工夫した内容のものを制作する	素材の特性を生かし細かく表現できたか
	3 月	〃		
	学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図法や色彩について理解し、立体感のある平面構成に応用することができたか。</li> <li>・材料や用具の特性を生かしし表現できたか</li> <li>・主題を明確にして表現方法を工夫して表現することができたか。</li> </ul>		

教科名	芸術科		科目名	書道 I						
対象学年	高校3年生		コース・選択等	コース I (A2)						
単位数	2単位		教科書 (出版社)	書道 I (教育出版)						
使用教材	教科書、ワークシート各種、中国・日本の古典作品集									
学習のねらい	小学校・中学校の「書写」と、高等学校の「書道」との関係や考え方の違いを理解させる。その上で、書表現の技能を身につけさせる。また、自らの考えに基づいて書を構想し、表現させる。さらに、中国・日本の古典作品について幅広く理解させ、その価値を考え、美を味あわせる。									
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書への関心・意欲・態度</li> <li>・書表現の構想と工夫</li> <li>・創造的な書表現の技能</li> <li>・鑑賞の能力</li> <li>・討論する力と理由を添えて意見を述べる力</li> </ul>									
学習内容と流れ	4月	1. 漢字仮名まじりの書	〈自由作品〉自分の好きな言葉・詩などを自分自身で表現する。さまざまな表現を工夫しながら、自分なりの表現を求める姿勢を身につける。	知識理解	主な活用力					価値態度
				知識理解	分析力	表現明力・	討論力	思批判力的	読解力	尊他者の重
						○		○		○
	5月	2. 楷書の学習	〈九成宮醴泉銘〉初めに、古典を鑑賞することにより、鑑賞の能力を身につける。その後、古典の特徴を観察し、自分なりに捉えて文章にまとめる。次に隣の人と情報交換をし、さらに内容を深めて文章にする。	○		○	○	○		○
						○		○		
				○		○	○	○		○
	6月	3. 行書の学習	〈牛橛造像記〉臨書をすることにより表現の技能を身につける。)			○		○		
				○		○	○	○		○
						○		○		
				○		○				

学期・月等	単元	学習内容	知識理解	主な活用力					価値態度
			知識理解	分析力	表現明力・	討論力	思批判的	読解力	尊他者の重
7月		〈風信帖〉に、古典を鑑賞することにより、鑑賞の能力を身につける。その後、古典の特徴を観察し、自分なりに捉えて文章にまとめる。次に隣の人と情報交換をし、さらに内容を深めて文章にする。	○		○	○	○		○
		〈風信帖〉臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。			○		○		
8月									
9月	4. 篆書の学習	〈金文〉初めに、古典を鑑賞することにより、鑑賞の能力を身につける。その後、古典の特徴を観察し、自分なりに捉えて文章にまとめる。次に隣の人と情報交換をし、さらに内容を深めて文章にする。	○		○	○	○		○
		〈金文〉臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。			○		○		
10月									
	5. 隸書の学習	〈礼器碑〉初めに、古典を鑑賞することにより、鑑賞の能力を身につける。その後、古典の特徴を観察し、自分なりに捉えて文章にまとめる。次に隣の人と情報交換をし、さらに内容を深めて文章にする。その後、臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。	○		○	○	○		○
11月		〈礼器碑〉臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。			○		○		
		〈礼器碑〉臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。			○		○		
12月	6. 年賀状の作成	自分なりの年賀状を作る。			○		○		○
1月	7. 仮名の学習	〈寸松庵色紙〉〈高野切れ〉〈継色紙〉〈升色紙〉初めに、古典を鑑賞することにより、鑑賞の能力を身につける。その後、古典の特徴を観察し、自分なりに捉えて文章にまとめる。次に隣の人と情報交換をし、さらに内容を深めて文章にする。	○		○	○	○		○
		〈寸松庵色紙〉臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。			○		○		
		〈継色紙〉〈升色紙〉臨書をすることにより表現の技能を身に付ける。			○		○		
学習の留意点・評価など		古典作品の鑑賞・比較したことを、他者と協同して文章にまとめることに積極的に取り組むように導く。また、知識を活かして臨書に取り組み、作品として表現するように導く。評価の素材として、テストに加え、ワークシートや書作品を用いる。							

教科名	芸術科	科目名	音楽Ⅱ
対象学年	高校3年	コース・選択等	コースⅠ 選択A2
単位数	2単位	教科書 (出版社)	高校生の音楽Ⅱ (教育芸術社)
使用教材	讃美歌21		
学習のねらい	<p>1・2年生で学んだ楽典等、音楽の基礎になる知識を確認する。          独唱曲を用いて、歌唱力の向上をはかる。          合唱を通してハーモニー感を養い、他人と共鳴しあう楽しさを味わう。          創作の楽しさを味わう          より広い分野の楽曲の鑑賞により、音楽的視野を広げる。          日本の伝統芸能に対する理解を深める。</p>		
学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元	ねらい
	1学期	独唱 「Nel cor piu non mi sento」 「夏は来ぬ」 オペラ鑑賞「道化師」「ラ・ボエーム」 楽典：音程	イタリア語、日本語の芸術歌曲にふれる ベリズモオペラの代表作を鑑賞する 音程について理解する
	2学期	合唱 「Amazing grace」「つぶてソング」 オペレッタ鑑賞「こうもり」「メリー・ウィドウ」 グループ創作 楽典：コードネーム	合唱の楽しさを知る コードネームを理解する 身近な物を使って音楽を創造する楽しさを味わう オペレッタの代表作を鑑賞する
	3学期	DVD 「日本の伝統芸能」鑑賞 雅楽、能、文楽、歌舞伎 調べ学習とプレゼンテーション	日本の伝統芸能について理解する
学習の 留意点・ 評価など	<p>歌をよりうまく歌えるように努力しているか。          教材に興味を持って楽曲鑑賞ができていないか。          楽典について理解できているか。          クラスメートと協力し合って、創作や調べ学習を行っているか。          授業内容や実技テストに真剣に取り組んでいるか。</p>		